

1. 3月以降の気象経過(図1)

<3月> かなり高温で推移

1ヶ月を通してかなり気温が高く、月平均気温は平年差+2.6℃でした。(3月の平均気温:平年差+2.6℃, 日照時間:平年比98%, 降水量:平年比86%)

<4月上旬> 気温は高く、降水量は多い

4月上旬の平均気温は平年差+1.0℃と高く、定期的な降雨があったことから、降水量は平年比225%と多くなりました。(4月上旬の平均気温:平年差+1.0℃, 日照時間:平年比106%, 降水量:平年比225%)

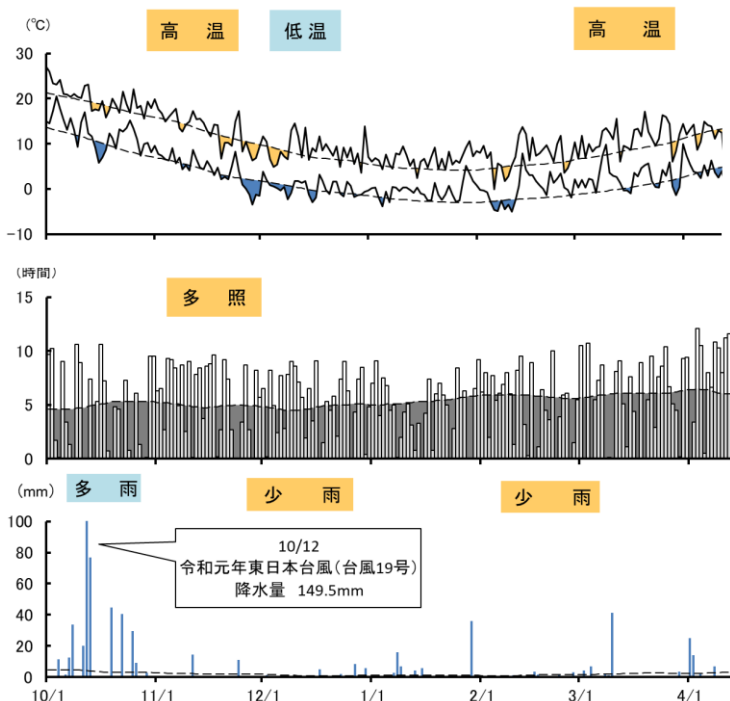


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上:最高・最低気温, 中:日照時間, 下:降水量
※点線は平年値

2. 生育調査ほの生育状況

(4月9日現在, 表1, 次頁写真)

- ◆ 茎数は桃生シュンライを除いて、全体的に平年より少なくなっています。
- ◆ 幼穂長は全体的に平年よりも短くなっています。播種時期が遅れたことが要因と考えられます。

表1 生育調査ほにおける4月9日付け調査結果

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/㎡)			幼穂長(mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取 (桃生)	11/02	+13	+13	27.2	-0.6	-1.9	703	58%	111%	5.7	-0.7	-6.5
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	11/01	+13	+11	30.3	+9.3	+4.9	463	62%	87%	5.1	+1.2	-2.5
	真野 (石巻)	11/17	+22	+25	25.3	+2.5	-1.6	318	53%	55%	4.3	-2.5	-6.3
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	11/08	+19	/	25.6	+1.6	/	385	59%	/	10.2	+0.5	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/09	+8	+12	22.2	+4.5	+0.2	537	57%	61%	2.1	+0.6	-0.1
	太田 (桃生)	11/02	+7	/	34.3	+12.0	/	826	59%	/	3.8	+2.1	/

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す。

※ 水沼ホワイトファイバー調査ほは調査2年目、太田シラネコムギ調査ほは、調査5年目のため平年差・比は記載しない



シュンライ(神取)



ミノリムギ(高須賀)



ミノリムギ(真野)



ホワイトファイバー(水沼)



シラネコムギ(小船越)



シラネコムギ(太田)

表2 生育調査ほにおける生育ステージの予測

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月日)			減数分裂期(月/日)			出穂期(月/日)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取 (桃生)	11/02	+13	+13	4/25	+6	+7	5/02	+5	+6
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	11/01	+13	+11	4/27	+3	+5	5/05	-1	+3
	真野 (石巻)	11/17	+22	+25	4/26	+4	+6	5/05	+4	+7
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	11/08	+19	/	4/18	-1	/	4/27	+0	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/09	+8	+12	5/01	-4	-1	5/11	-2	+1
	太田 (桃生)	11/02	+7	/	4/24	-9	/	5/05	-5	/

※ 播種日については確定日。減数分裂期以降については4月9日時点の幼穂長からの予測日。

※ 前年差, 平年差における+は遅れを示し, -は早まりを示す。

※ 生育中庸な3株の主茎における幼穂長の平均値をもとに予測。

3 今後の管理

(1) 追肥

① 減数分裂期追肥

◆ 幼穂長や止葉葉耳間長を確認し、**適期追肥**を心がけましょう(前号参照)。特に、この時期は幼穂長が1日で5mm程度伸びるので、**適期を逸さないよう注意**しましょう。

◆【大麦】追肥の遅れは硬質麦の原因となり、**品質低下**を招きます。**早めに作業を開始**しましょう。

表3 追肥の時期と施用量の目安

生育ステージ		減数分裂期	穂揃期 (8割以上が出穂)
追肥の目的		一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	追肥時期	4月中旬~4月下旬 (幼穂長20~30mm)	実施しない
	10a当たり 施用量	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg) (尿素4.5~5.5kg)	
小麦	追肥時期	4月下旬~5月上旬 (幼穂長20~50mm)	5月下旬
	10a当たり 施用量	窒素成分4~5kg (硫安20~25kg) (尿素9~11kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg) (尿素4.5~5.5kg) ※ 夏黄金は2倍量

※ 追肥時期は、本年の生育状況による見込。必ずほ場毎の幼穂長や葉耳間長を確認してから追肥を行うこと。

◆「ホワイトファイバー」については、もち性大麦に豊富に含まれている水溶性食物繊維「β-グルカン」含有率の低下を避けるため、減数分裂期追肥を必ず行ってください。

②【小麦のみ】穂揃期追肥

◆ 出穂状況を確認し、適期追肥を心がけましょう。

(2) 排水対策：麦類は茎立ち以降、**湿害に弱くありません**

- ◆ 暗きよの水閘が閉じているほ場がないか、再点検しましょう。
- ◆ 明渠が崩れていないか確認し、必要に応じ手直しをしましょう。
- ◆ 大雨の後にはほ場を巡回して、排水溝に稲わらなどが詰まっていないか確認しましょう。

(3) 赤かび病防除

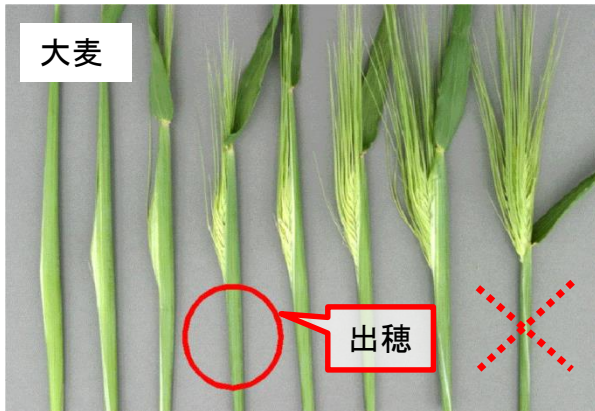
- ◆ 赤かび病防除は、防除時期(特に1回目)が重要です。
- ◆ 基本は2回防除です。ただし、降雨が続く場合や「夏黄金」の場合は3回の防除が必要です。

- 1回目：開花始期～開花期
- 2回目：1回目の7～10日後
- (3回目：2回目の7～10日後)

★ 開花始期～開花期の大まかな目安 ★
 【大麦】出穂期後5～8日頃
 【小麦】出穂期後10～13日頃
 ※ 出穂期の予想は、表2を参照願います。

出穂期、穂揃期の判断

麦類の出穂とは、**芒を除く穂の本体が顔を出した状態(写真の丸印の状態)です！**

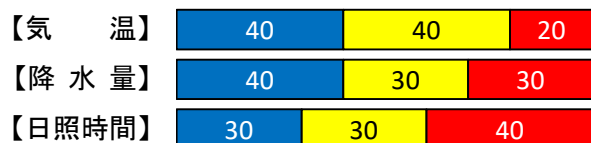


- ★ ほ場の出穂期とは、全茎数の4～5割が出穂した(写真の丸印になった)日です。
- ★ ほ場の穂揃期とは、全茎数の8～9割が出穂した(写真の丸印になった)日です。
(穂揃期は、出穂期の1～2日後)

1か月予報 (4/11～5/10)
 仙台管区气象台 4月9日発表

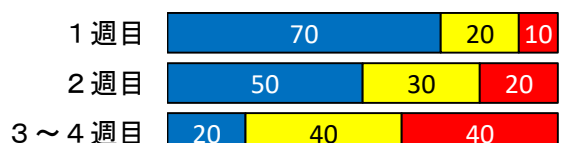
天気は数日の周期で変わりますが、
 平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い